

第7回大宮区区民会議 次第

平成23年11月25日(金)
13:30～15:30
大宮区役所本館1階多目的室

1 開 会

2 報告事項

- (1) 大宮区民ふれあいフェア等のイベント参加報告について
- (2) 大宮駅周辺地区歩行者系公共サイン整備事業プロポーザル選考委員会委員の選任について

3 協議事項

- (1) 大宮区まちづくりフォーラムについて 資料1
- (2) 提言づくりに向けた大宮区の解決すべき課題の抽出 資料2 - 1 ~ 2 - 4
～SWOT分析～
グループに分かれ大宮区の解決すべき課題を戦略レベルで整理します
- (3) その他

4 閉 会

【配布資料一覧】

次第	
資料1	大宮区まちづくりフォーラム開催概要(案)
資料2 - 1	第5期大宮区区民会議検討スケジュール
資料2 - 2	第6回区民会議グループワーク結果(大宮区の強み・弱み)
資料2 - 3	SWOT分析表(A～D)
資料2 - 4	区の地域資源等に係るシール投票結果(大宮区民ふれあいフェア)
参考資料1	区民会議だより作成スケジュール
参考資料2	第6回大宮区区民会議会議録

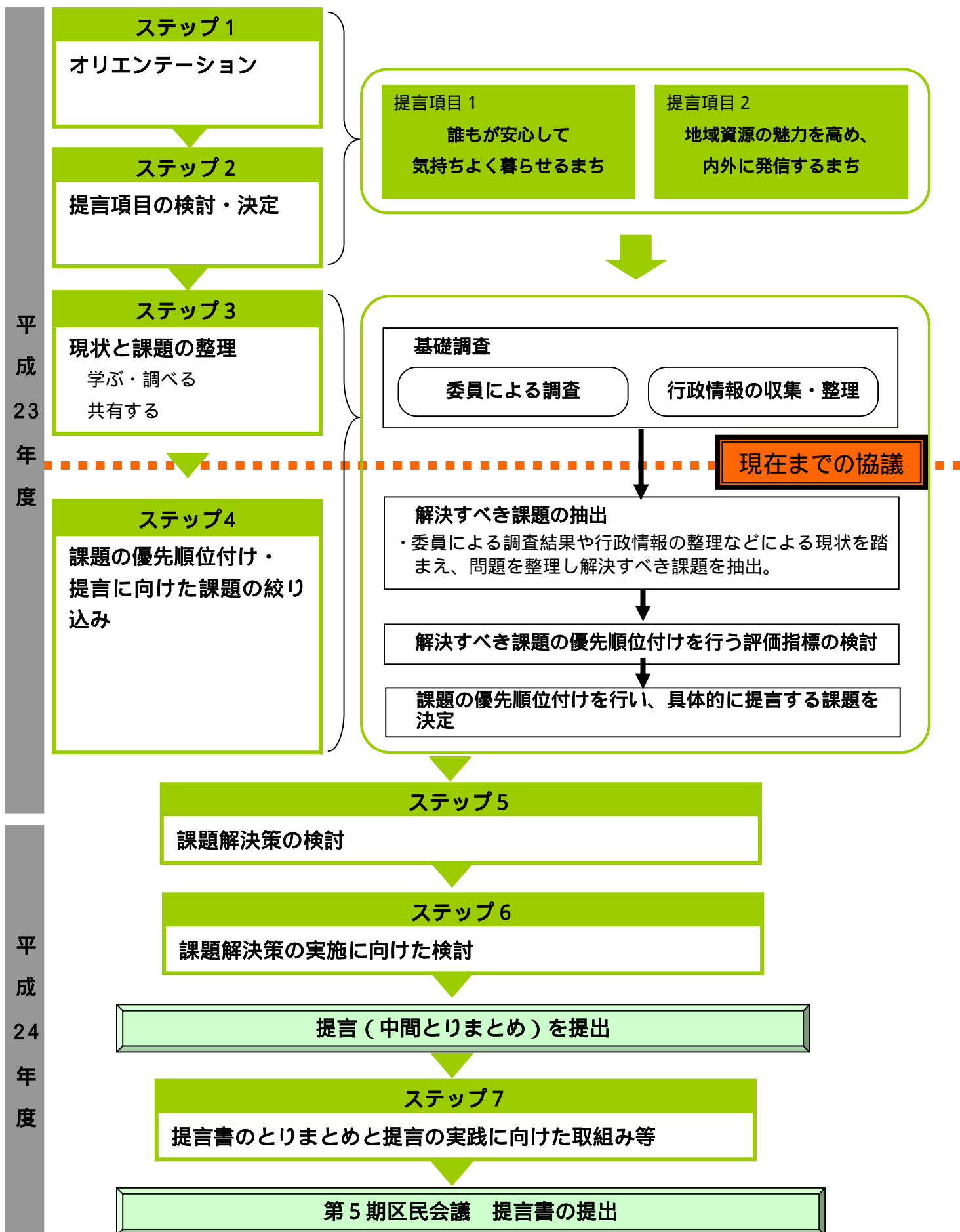
大宮区まちづくりフォーラム開催概要(案)

- 1 開催目的
大宮区の魅力あるまちづくりを区民とともに考える機会として、区民を対象にまちづくりフォーラムを開催する。
- 2 名称
大宮区まちづくりフォーラム「(仮)災害に強いまちづくりに向けて」
- 3 主催等
主催 大宮区区民会議
共催 大宮区、さいたま市生涯学習総合センター
- 4 日時
平成24年3月4日(日)13時~16時(12時30分開場)
- 5 会場
生涯学習総合センター多目的ホール(シーノ大宮センタープラザ10階)
- 6 対象・定員等
大宮区内在住、在勤、在学の方・定員180人(入場無料)
- 7 内容
13:00 開会・主催者あいさつ
13:10 第1部 基調講演案
 テーマ:「(仮)災害に強いまちづくりに向けて」
 講師:右記参照
13:50 第2部 パネルディスカッション
 参加者案(4名程度)
 ・コーディネーター(1名)
 基調講演講師
 ・パネリスト(3名)
 区民会議会長、区長、自治会長、学生、市防災担当者等
14:40 休憩
14:55 第3部 市民活動ネットワーク団体の活動紹介
16:00 閉会
- 8 PR及び報告
(1)フォーラム開催PR
 ・ポスター自治会掲示板にて掲示・・・A3判500部
 ・チラシ全戸配布(区報2月号併配)・・・A3判二つ折55,000部
 ・市報大宮区版にPR記事掲載
(2)フォーラム実施報告
 区民会議だよりに掲載(区報4月号併配)・A3判二つ折55,000部

基調講演案

分野	基調講演候補者	講演・講義実績等
都市防災	中林一樹氏 明治大学特任教授 【分野】 都市防災、災害復興	講演事例 「首都直下型地震の切迫性と地域連携による防災力の向上について」 (H19:立川市防災モデル推進事業) 「東京は東日本大震災から何を学ぶのか」(H23.5月:首都大学東京) 主な著書・論文等 『大震災に備える』(共著・日本建築学会叢書7・丸善・2009年) 『自治と参加・協働』(共著・学芸出版社・2007年)
	市古太郎氏 首都大学東京准教授 【分野】 都市防災論、災害復興、 事前復興まちづくり	講演・講義事例 「東日本大震災の被災地の状況や活動事例と町田市の自主防災組織の活動や課題」 (H23.9月:町田市『自主防災組織防災リーダー養成講座』講師) 「震災からの復旧・復興に必要なもの～地域で取り組むことの大切さ～」 パネルディスカッションコーディネーター (H23.10月:練馬区「震災復旧と復興を考える!」フォーラム)
	澤田雅浩氏 長岡造形大学准教授 【分野】 都市計画、都市防災、災 害復興計画	講演・講義事例 「新潟県中越地震からの復興プロセスにみる今後の地域づくり」 (H23.7月:総務省『平成23年度第2回地域力創造セミナー』) 「災害における人の力を考える～家族・仲間を守るために～」 (H23:「まちなかキャンパス長岡講座」講師) 「自主防災組織の新たな試み」(H23:「中越市民防災安全大学」講師)
市民防災	細川顕司氏 (財)市民防災研究所 講師	(財)市民防災研究所の概要 市民一人ひとりが地震、火災等の災害から身を守るための研究と、市民の立場から発想した内容の防災普及活動を行っている。また、防災教育ツールの開発等も行っている。 自治会・企業・自治体などを対象とした研修会および講習会の講師実績多数。 講演・講義事例 「震災の現場から学び、考える、災害への対応」 災害への備えや大地震が起きた時の対応など、災害時に実際に起こりうる決断の「分かれ道」での対応を、「クロスロード」というシミュレーション手法を用いて、参加者が体験しながら考える。(ワークショップを用いた参加型講演)(H23.11月:荒川区「防災・減災まちづくりフォーラム」)
	稲垣文彦氏 社団法人 中越防災安全推進機構 中越復興市民会議 事務局 局長	略歴 新潟県中越沖地震から山古志村の災害救援ボランティア活動に携わる。2005年5月、地域復興のための中間支援組織「中越復興市民会議」を創設、事務局長に就任、現代表。 中越復興市民会議では、「ひとりひとりの小さな声を、復興の大きな流れへ」を合言葉に、「被災者と行政」、「被災者と被災者」、「被災者と支援者」をつなぐことで住民主体の復興を支援する。 講演・講義事例 「新潟発地域協働復興」(H22:東京都「震災復興シンポジウム」)
被災体験	新潟県中越地震、新潟県中越沖地震、東北地方太平洋沖地震の被災体験者例)各自治体の職員、議員、自治会長など	主旨 災害時の被災状況や当時の対応、課題などを被災体験者にお話いただき、災害に対する心構えを再認識するとともに、パネルディスカッションを通じて、これからの大宮区(さいたま市)での地域防災体制づくりに向けたあり方を探る。

第 5 期大宮区区民会議検討スケジュール



第 6 回区民会議グループワーク結果（大宮区の強み・弱み）

A：快適で、気持ちよく利用できる駅周辺のまちづくり

内部要因	
大宮区の強み（S）	大宮区の弱み（W）
<p>「鉄道のまち」のイメージがある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道の要所 ・大宮駅の知名度 <p>駅周辺に商業が集中している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業圏が駅周辺に密集している ・駅を中心として、東は商業地域、西は公共施設と分かれており、目的に応じた人の流れが東西にある <p>人（若い人）が集まる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が集まる ・専門学校が多く、若い人の流入がある <p>銀座通りがある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者天国 / フリーマーケット（5月、10月） ・銀座通りの電柱地中化 / 銀座通りの整備 <p>NHK</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大門中地区の再開発（NHK） <p>駅のバリアフリー化が進んでいる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西口のバリアフリー ・バス停のエレベーターの設置 <p>鉄道会社の地域貢献を期待したい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鉄道博物館」のPRだけでなく、大宮区の魅力発信にも協力してほしい ・駐車場整備は鉄道会社の協力が必要 	<p>日中の一時駐車のための身近なスペースがない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の保管ラックやスペースでは収納が困難になっている <p>マナーが悪い（美化、放置自転車）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タバコの吸い殻 ・自転車問題 ・自転車利用者のマナーを徹底する <p>小学校の教科に組み入れる</p> <p>大宮駅で氷川神社を感じられない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内板の設置 <p>氷川神社へもっと人を流したい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅からの人の流れが氷川神社へ向けてあり、これが商店の潤いにつながっている（サッカーの試合がある時など） <p>「人にやさしい」要素がない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くつろぎの施設がない ・街路樹がない ・バリアフリーの遅れ ・公共交通手段が限定されている ・インフラ整備の遅れ ・犯罪率が県内で最も高い（自転車盗難、ひったくり、万引き）

第 6 回区民会議グループワーク結果（大宮区の強み・弱み）

B：地域を自分たちで守る、災害に強いまちづくり

内部要因	
大宮区の強み（S）	大宮区の弱み（W）
<p>行政が前向き。より実践的な取組へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政が前向きとなっている <p>大宮公園がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮公園は災害時の後背地として有効 	<p>災害時に動ける人がどれくらいいるか、掴めていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼夜人口の大きな差が、“その時”の大きな欠陥 ・昼夜人口の把握 ・住人情報の把握が難しい現実（個人情報壁） <p>本当に必要な情報が伝わっていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報不足 <p>自主防災組織率が低い、高齢化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会組織が高齢化で弱い ・自主防災組織の結成率が低い ・自治会員の加入率が低い <p>防災意識が低い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災意識が低い。どの様な手立てを講じて up するか？

第 6 回区民会議グループワーク結果（大宮区の強み・弱み）

C：地域資源をいかし、つなげるまちづくり

内部要因	
大宮区の強み（S）	大宮区の弱み（W）
<p>商都のイメージが定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮駅は全国的に知名度が高い <p>観光スポットがある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮二十景は資源として発信出来る ・観光スポット：氷川神社、大宮二十景 <p>歴史ある氷川神社がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氷川神社、参道をパワースポットとして進めるべきだ ・氷川の杜（氷川神社、参道、大宮公園）として緑豊かな面を強調する ・氷川神社へ行く参道、一の鳥居から神社までの緑、長い参道も <p>駅周辺に資源がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮駅を中心として近い場所に豊かな緑、水の空間を持つ資源が多く存在している ・自転車で資源をまわれる ・氷川、大宮公園が駅に近い <p>多くの人が集まる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が多い ・人が多く集まり集い、過ごすことの出来る資源がある ・新しい物（建物など）が多い <p>利便性が良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利便性に富んでいる 	<p>ブランドイメージを活用していない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮には既に全国区のブランドが確立している。これを大切に育てるべきだ（資源） ・外のイメージ、内のイメージに差がある ・東京というブラックホールのような吸引力の街に近いので、資源（魅力）の羅列型ではダメだ ・商都としてのブランドを利用すべき <p>個々の資源が繋がっていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの資源が孤立している状態である ・駅周辺に資源が集中している ・氷川の杜、鉄道博物館、盆栽村をつなげた観光の振興をすべき <p>基盤整備が不足している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い（道路の整備） ・人が集まる為の設備が整っていない。手入れがされていなかったりで生かされていない <p>駅前の景観が損なわれている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車や駅前の景観が損なわれている ・駅から参道へ行く道路の放置自転車、ゴミのこと、緑のなさ等 <p>氷川の PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氷川の杜としての PR 不足 ・パワースポットとしての PR 不足 ・氷川の姿勢（スタンス）を開放的に <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の通過点

第 6 回区民会議グループワーク結果（大宮区の強み・弱み）

D：大宮区らしさを伸ばし育て、発信するまちづくり

内部要因	
大宮区の強み（S）	大宮区の弱み（W）
<p>大宮ブランドは確立されている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信力は弱くはない。（弱みではない） ・大宮ブランドがある。 <p>ウェルカムの心がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中している、外からの流入が多い（歓迎） <p>二十景の資源がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮二十景、線になっている 	<p>地元意識が薄い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮に対する馴染みがない ・大宮区都民（区外）が多い（地元意識 弱い） <p>アイデンティティを強調出来ていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイデンティティ（商都大宮、氷川の杜、鉄道のまち）をもっと強調すべき（伝統的なもの） ・アイデンティティ。若者の集うまち。新しいものを発見出来るまちを発掘していく（新しい文化） <p>イメージ up がうまくない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージを湧かせるような街づくりをしていく。サイン・看板が少ない。 ・ネガティブ発信が多い。ポジティブなものが少ない ・ガイド Map（看板） <p>資源を活かしきれていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の強さは絞り込み出来る。突出した一点に絞り込む力が弱いのではないか。 ・絞り込み、ターゲットは一つにするのか。家族、若者・・・ ・氷川、アルディージャ、鉄道、バラバラに発信している ・歴史的なものに結び付けて、紹介していくようにする

A：快適で、気持ちよく利用できる駅周辺のまちづくり

		内部要因	
		大宮区の強み (S)	大宮区の弱み (W)
		<p>大宮駅の知名度が高く、「鉄道のまち」のイメージがある</p> <p>駅周辺に商業が集中している</p> <p>駅を中心として、目的に応じた人の流れが東西にある</p> <p>専門学校が多く、人（若い人）が集まる</p> <p>歩行者天国があり、電柱地中化などの整備が進んでいる銀座通りがある</p> <p>大門町二丁目中地区の再開発により誘致される NHK が、地域の核として期待出来る</p> <p>大宮駅の東西において、バリアフリー化が進んでいる</p> <p>鉄道会社の地域貢献（駅での大宮区の PR や駐輪場整備など）を期待したい</p> <p>大宮駅は知名度が高く、商都のイメージが定着している</p>	<p>日中の一時駐車（自転車）のための身近なスペースがない</p> <p>自転車利用者やタバコの吸い殻などマナーが悪い</p> <p>案内板等が少なく、大宮駅で氷川神社を感じられない</p> <p>大宮駅周辺に集まるたくさんの人が、氷川神社やその他の区内に流れていかない</p> <p>くつろげる空間や、街路樹の緑が少ない</p> <p>バリアフリーの整備が遅れている</p> <p>公共交通手段が限定されている</p> <p>犯罪率（自転車盗難、ひったくり、万引き等）が高い</p>
外部要因	機会 (O)	<p>【積極化戦略】</p>	<p>【弱点強化戦略】</p>
	脅威 (T)	<p>【差別化戦略】</p>	<p>【防衛策・回避戦略】</p>

まちの美化に向けて、ポイ捨てに対する指導強化や自転車駐り場などの設置、放置自転車の撤去などに取り組んでいる。

大宮駅周辺地区では、緑やオープンスペースの確保や回遊性の高いにぎわい空間の創出を目指している。環境負荷の少ない移動手段として自転車利用の促進が求められている。

大宮駅周辺地区は、近年は駅周辺に専門学校などが増え、若い人々の集まる活気が加わってきている。

大宮駅東口の再開発が動き出している

さいたま新都心駅や浦和駅では、駅前再開発等により魅力ある駅周辺のまちづくりが進められている。

近年、市民購買力の東京都心部への流出が見られ、また、近隣市での大規模店舗の立地による都市間競争の激化などにより、商圈は縮小傾向となっている。

意識調査では、大宮区在住者による今後の重要施策において「市街地整備」(第2位)、「事故・防犯」(第4位)が挙げられている。

B：地域を自分たちで守る、災害に強いまちづくり

		内部要因		
		大宮区の強み (S)	大宮区の弱み (W)	
		行政が防災に対して前向きに取り組んでおり、より実践的な取組をしている 災害時の後背地として有効な大宮公園がある	特に駅周辺での昼夜人口の差が大きい。災害時に動ける人がどれくらいいるか、掴めていない 本当に必要な情報が伝わっていない 自主防災組織の結成率が低い 自治会組織が高齢化で、弱い 自治会員の加入率が低い 災害に強い地盤であるためか、一人ひとりの防災意識が低い	
外部要因	機会 (O)	大宮区は地盤が固く、災害に強い地理的条件である。 防災アドバイザー (防災士) や防災ボランティアコーディネーターの養成が行われている。 自主防災組織は、市民の防災意識の高まりとともに結成率が年々上昇している。 意識調査では、大宮区在住者による今後の重要施策において「防災」は第 7 位 (13.7%) となっている。 (全市では第 8 位 (11.6%))	【積極化戦略】	【弱点強化戦略】
	脅威 (T)	今後、想定外の規模の地震や、集中豪雨などによる被災の可能性がゼロではない。 少子高齢化が進み、災害時の要援護者が増えることが予測される。 都市化や地域コミュニティの希薄化により、互いの顔を知らない関係の地域が増えてきている。 自主防災組織の結成率の目標値は 90% (H24) となっているが、大宮区の現在値は 69.3% (平成 23 年 7 月) となっている。 避難所の運営組織 (委員会) の設置率が、ほぼゼロとなっている。	【差別化戦略】	【防衛策・回避戦略】

C : 地域資源をいかし、つなげるまちづくり

		内部要因	
		大宮区の強み (S)	大宮区の弱み (W)
		大宮駅は全国的に知名度が高く、商都のイメージが定着している 氷川神社や大宮二十景などの観光スポットがある 歴史ある、緑豊かな氷川神社がある 駅から近い場所に、豊かな緑や水辺空間のある資源が多く存在している 多くの人が集まり、過ごすことができる資源がある 買い物や交通の利便性が良い	全国区のブランドイメージ (商都としてのブランド) が活用できていない 外のイメージ、内のイメージに差がある 東京に近い都市でもあり、資源 (魅力) の羅列型では弱い 個々の資源が繋がっていない 道路や人が集まるための設備など、基盤整備が不足している 放置自転車やゴミ、緑の少なさなどにより、駅前の景観が損なわれている 氷川神社が開放的でなく、PR があまりされていない 美しい魅力的なスポットが少ない 交通の通過点になっている
外部要因	機会 (O)	【積極化戦略】 さいたま新都心から氷川参道、大宮公園、盆栽村を経て、見沼田圃に至る緑の回廊の形成が位置付けられている。 心の豊かさや生活の質の向上が求められている中で、芸術・文化に親しんだり、郷土の歴史や自然を大切に暮らすが求められている。 さいたま市の観光の可能性として、「テーマ型観光」や「利便性を生かした交流型の観光」がある。 知的欲求の高まり (学習型観光) や本物志向 (本物の価値の追求) の傾向が見られる。	【弱点強化戦略】
	脅威 (T)	【差別化戦略】 都市間、地域間の競争の激化により、個性と魅力ある観光づくりが求められている。 駅前や主要道路における案内板の設置等の遅れや、観光サインの不足、観光交通システムが未整備など、受け入れ体制の不十分さが課題となっている。	【防衛策・回避戦略】

D : 大宮区らしさを伸ばし育て、発信するまちづくり

		内部要因		
		大宮区の強み (S)	大宮区の弱み (W)	
		<p>大宮ブランドが確立されている</p> <p>情報発信力は弱くはない</p> <p>外から訪れる人を受け入れる「ウェルカムの心」がある</p> <p>線でつなげられる資源として、大宮二十景がある</p>	<p>大宮区都民が多く、地元意識が薄い</p> <p>伝統的なアイデンティティ (商都、氷川の杜、鉄道のまち) を強調出来ていない</p> <p>若者が集うまちとしてのアイデンティティがない</p> <p>大宮区のイメージを伝えられるようなサイン・看板が少ない</p> <p>ネガティブな発信が多く、イメージ UP や PR がうまくない</p> <p>たくさんある資源を絞り込まず、突出した一点がない</p> <p>情報発信の際のターゲットを絞り込めていない</p> <p>氷川、アルディージャ、鉄道などは、それぞれバラバラに発信している</p>	
外部要因	機会 (O)	<p>新しい産業の育成に向けて、企業の支社・営業拠点機能の立地誘導や地方地場企業の首都圏における支社・営業拠点機能の立地を働きかけていくことが位置付けられている。</p> <p>広域交通拠点性が高く、市場としてのポテンシャルは高いと考えられる。</p> <p>観光の振興に向けて、観光資源の情報を国内外に発信して来訪者の拡大を図る方向性が出されている。</p> <p>「観光立国」への機運の盛り上がりが見られる。</p>	<p>【積極化戦略】</p>	<p>【弱点強化戦略】</p>
	脅威 (T)	<p>合併後、都市としてのアイデンティティ (自己規定) が明確化されているとは言えない。</p> <p>大都市だけではなく、小規模な市・町までもが、積極的に自己アピールを展開している。</p> <p>首都圏におけるさいたま市のイメージのトップは「特に何も思い浮かばない」となっている。</p> <p>古くからの住民が多く住む一方、マンションの多い中心市街地や郊外には新たに転入してきた区民も増えており、地域住民の交流の促進が求められている。</p>	<p>【差別化戦略】</p>	<p>【防衛策・回避戦略】</p>

区の地域資源等に係るシール投票結果（大宮区民ふれあいフェア）

平成 23 年 10 月 29 日（土）に開催された大宮区民ふれあいフェアにおいて、地域資源に関するシール投票を行いました。
その結果、約 180 人もの方々から延べ 422 枚のシールを投票していただきました。

大宮区 の 地 域 資 源 に つ い て

- ・大宮区らしさをアピールするための地域資源としては、男女ともに「氷川の杜」「大宮公園」「鉄道博物館」が上位3位となっている。
- ・これからのまちづくりで活用すべき地域資源は、投票数が比較的分散している。上位には「大宮駅」「氷川の杜」「交通の利便性」「大宮アルディージャ」が挙げられた。

		大宮区らしさをアピールするための地域資源		小 計	これからのまちづくりで活用すべき地域資源		小 計	合 計
		男性	女性		男性	女性		
歴史・文化	氷川の杜	22	16	38	6	7	13	51
	大宮公園	8	14	22	2	4	6	28
	見沼たんぼ公園	5	3	8	2	4	6	14
	中山道	0	0	0	0	2	2	2
	寿能城	1	2	3	3	0	3	6
	小 計	36	35	71	13	17	30	101
自 然	見沼代用水	3	2	5	4	0	4	9
	芝川	0	0	0	1	0	1	1
	桜並木	4	5	9	1	5	6	15
	小 計	7	7	14	6	5	11	25
レジャー	大宮アルディージャ	3	0	3	4	7	11	14
	NACK5スタジアム大宮	0	1	1	0	2	2	3
	鉄道博物館	14	9	23	5	4	9	32
	小 計	17	10	27	9	13	22	49
交 通	大宮駅	2	3	5	9	8	17	22
	鉄道のまち	4	2	6	3	1	4	10
	交通の利便性	2	3	5	6	5	11	16
	小 計	8	8	16	18	14	32	48
商 業	充実した商業施設	0	2	2	3	1	4	6
	近代的な施設群	0	0	0	1	2	3	3
	小 計	0	2	2	4	3	7	9
人 材	大宮区民	3	1	4	3	2	5	9
	コミュニティ	0	0	0	2	1	3	3
	小 計	3	1	4	5	3	8	12
その他		0	0	0	0	0	0	0
合 計		71	63	134	55	55	110	244

大宮区 の こ れ か ら の ま ち づ く り の 課 題 に つ い て

- ・全体では、「安心して利用できる道路づくり」「駅周辺の顔づくり」「自転車利用のマナー向上」「ブランドイメージづくり」が上位4位となっている。
- ・男性では、「駅周辺の顔づくり」や「ブランドイメージづくり」など、外に対する課題が上位に挙げられている。
- ・一方で、女性では、「安心して利用できる道路づくり」や「自転車利用のマナー向上」など、安心・安全に関する課題に関心がある傾向が見られる。

			大宮区のこれからのまちづくりで取り組むべき重要な課題		合 計
			男性	女性	
誰もが安心して気持ちよく暮らせるまち	駅周辺	大宮にふさわしい駅周辺の顔づくり	11	12	23
		駅周辺の美化・緑化	6	7	13
	小 計	17	19	36	
	放置自転車	放置自転車の解消	5	7	12
		駐輪場の整備と稼働率アップ	3	3	6
		自転車利用のマナー向上	4	12	16
	小 計	12	22	34	
	道路	歩行者・自転車が安心して利用できる道路づくり	7	27	34
	防災	一人ひとりの防災意識の向上	2	6	8
		自主防災組織等の防災体制の強化	0	0	0
小 計	9	33	42		
中 計	45	101	146		
地域資源の魅力を高め、内外に発信するまち	地域資源	既存の地域資源の活用	0	1	1
		新たな地域資源の発掘	0	0	0
		分かりやすい案内板の工夫	1	2	3
	小 計	1	3	4	
	情報発信PR	大宮区のブランドイメージづくり	10	6	16
		大宮区の特徴や地域資源のPR	3	0	3
	小 計	13	6	19	
	コミュニティ	地域資源を守り育てる仕組みづくり	1	3	4
		人材の活用	2	3	5
	小 計	3	6	9	
中 計	17	15	32		
その他		0	0	0	
合 計		62	116	178	

区民会議だより作成スケジュール

1 区民会議だより作成検討会議担当業務

平成24年3月31日付け「区民会議だより」の発行に向け必要事項の検討をする。

2 確定事項

- ・構成はA4版 4ページとする
- ・2ページは区民会議が、残りの2ページは市民活動NW団体の掲載希望団体が作成する
- ・平成24年4月1日市報と併配する

3 スケジュール

	日程	会議等	協議事項等	備考(まちづくりフォーラム)
1	11月10日	第1回検討会議	紙面の検討	
2	11月25日	第7回区民会議	検討会議の報告	フォーラム開催内容協議
3	11月29日	第2回検討会議	紙面の検討	
4	12/上旬	コミュニティ課		ポスター・チラシ作成委託業者決定
5	12/中旬	NW交流会	紙面の検討報告	
6	12/中旬	第3回検討会議	紙面の検討	
7	12月22日	第8回区民会議	検討会議の報告	・フォーラム開催内容、出演者決定 ・ポスター・チラシ紙面決定
8	12/下旬	コミュニティ課		ポスター・チラシ決定し紙面業者へ
9	1/上旬	第4回検討会議	紙面の検討	
10	1/上旬	コミュニティ課	印刷業者決定	
11	1月24日	第9回区民会議	検討会議の報告	フォーラム開催内容詳細協議
12	2月1日			ポスター掲示・チラシ配布
13	2/上旬	第5回検討会議	紙面案の決定	
14	2/中旬	印刷業者	最終案作成	
15	2月24日	第10回区民会議	検討会議の承認(紙面の確定)	フォーラム開催内容詳細協議
16	2/下旬	コミュニティ課	確定紙面を印刷業者へ渡す(写真以外)	
17	3月4日		フォーラム開催	
18	3月5日	コミュニティ課	フォーラムの写真を業者へ(紙面確定)	
19	3/20頃		区民会議だより納品	
20	4月1日		区民会議だより全戸配布	

平成 23 年度第 6 回大宮区区民会議 会議録

1 日時・場所

日 時 平成 23 年 10 月 25 日 (火) 14:00 ~ 16:20

場 所 大宮区役所 1 階多目的室

2 出席者 20 名

(委員) 12 名 (敬称略)

谷口明夫会長、生越康治副会長、

飯野明委員、池澤和江委員、織田準一委員、風間裕子委員、斉藤清司委員、

関根正美委員、館野松男委員、名田満子委員、宮原律夫委員、渡辺栄雄委員

(オブザーバー) 1 名

尾藤 (副区長)

(事務局) 5 名

細田 (コミュニティ課長)、長島 (コミュニティ課参与)、寺村、磯、浅見

(以上コミュニティ課)

(コンサルタント) 2 名

小田、黒丸 (以上(株)地域計画連合)

3 議事次第

(1) 開会

(2) 協議事項

2011 大宮区民ふれあいフェアについて

提言づくりに向けた情報の整理

~ SWOT 分析 ~

グループに分かれ大宮区の強み・弱み等を整理します

大宮区まちづくりフォーラムについて

(3) その他

(4) 閉会

4 議事の内容

(1) 大宮区民ふれあいフェアについて

谷口会長から、ふれあいフェア当日にブースにおいて掲示するパネル案の説明があり、案のとおり了承された。

また、当日の来場者への配布物及び委員の出席者を確認した。

(2) 提言づくりに向けた情報の整理

～ SWOT分析～グループに分かれ大宮区の強み・弱み等について

SWOT分析作業の進め方について、資料に基づきコンサルタントが説明し、「快適で気持ちよく利用できる駅周辺のまちづくり」と「地域を自分たちで守る、災害に強いまちづくり」を検討する班と、「地域資源をいかし、つなげるまちづくり」と「大宮区らしさを伸ばし育て、発信するまちづくり」を検討する班に分かれ、グループ単位で検討した。

会議では、各委員から様々な意見が出され、最後にコンサルタントがまとめて結果報告を行った。

なお、結果は、次回の区民会議資料として、共有することとなる。

(3) 大宮区まちづくりフォーラムについて

まちづくりフォーラムの開催内容等、事務局から資料に基づき案を説明し、次のとおり決定した。

開催内容については、案のとおり決定

区民会議だよりの発行時期については、4月号と併配する

区民会議だよりの作成委員として、正副会長、風間委員及び館野委員が行う

(4) その他

えきクルおたすけマップの全戸配布について

自治会を通じてマップを全戸配布するため、11月24日に実施される自治会連合会理事会に、区民会議を代表して谷口会長が出席し依頼をすること

となる。

また、上記理事会にて全戸配布の件が承認された場合、印刷し納品となったマップを12月20日(火)に区役所多目的室において、区民会議委員が仕分け及び梱包作業等を行い、各自治会に郵送することとなる。

区民会議ホームページの開設について

生越副会長から、区民会議ホームページを作成する委員を今後依頼する旨の話があり、了承された。

次回の区民会議について

谷口会長から、提言に向け各委員の情報の共有化等を図るため、次回区民会議において、氷川神社について識見をお持ちの方をお招きし、30分程度講師をお願いしたい旨の提案があった。

協議の結果了承され、次回の区民会議は11月25日(金)午後1時30分から午後4時まで、大宮区役所多目的室にて実施することと決定した。

以 上